

は酒の酔が醒めないに見えるな。」

と云ひますと、大村銅像は少しくきま

り悪く、

「何ッ、酒の酔は醒め過ぎたが、餘り急

いだものだからこゝで一休みしてゐ

る所さ。」

などと負惜み口上を後に残して歸つて

往きました。之れで四銅像は各自分の

座に着きましたとい。

(完)



(1)	1 1 2 2	3 3 2 2	3 5 5. 3	2. — 0
	チイサキ	アレラニ	ヨキコト	チ
(2)	まいにち	われらを	あいしつ	い
	3 — 2 2	1 1 2 2	5 3 3. 2	1. — 0
	チシヘ	タマヒシ	シノメグ	ミ
	そだて	たまひし	しのなさ	け
	2 — 3 2	5. 6 5 0	3 2 3. 6	5. — 0
	ナガク	トホク	ワスルマ	ジ
	おやの	ごとく	あさゆふ	に
	6 6 1 6	5 — 5 3	2 2 3 2	1. — 0
	オホキク	ナリテ	ノチマデ	モ
	したひて	あふがん		

師の恩

此歌は女子高等師範附屬幼稚園にて一の組に近頃教授しつゝあるものなり

(幼稚園卒業の歌)